

令和4年度 学長裁量経費 決定事業一覧

(単位：千円)

事業No.	事業	配 分 部 局 等	配分予算科目	主な目的	配分額	配分日	備 考
1	学生環境整備及び体育館空調整備について	財 務 ・ 総 務 室 (施 設)	学長裁量経費 (営繕)	施設整備	53,592	R4. 6. 8	2ヵ年事業の2年目 うち、令和3年度からの繰越事業分 53,592千円
2	事務用端末等のセキュリティ強化	財 務 ・ 総 務 室 (情 報)	学長裁量経費 (管理)	その他	22,834	R4. 7. 1	4ヵ年事業の4年目
3	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業における女性研究者の研究活動再開・継続支援	学 術 ・ 社 会 連 携 室	学長裁量経費 (研究)	研究の充実	6,300	R4. 7. 1	
4	令和4年度科研費ステップアップ支援制度	学 術 ・ 社 会 連 携 室	学長裁量経費 (研究)	外部資金関連	5,000	R4. 7. 1	計画変更による予算の引き上げ 当初計画額10,000千円
5	公式ウェブサイト運用システムのDrupal9更新	財 務 ・ 総 務 室 (広 報)	学長裁量経費 (管理)	レピュテーション向上	14,630	R4. 7. 1	
6	博士課程リーダー育成プログラム運営支援経費	教 育 室	学長裁量経費 (教育)	教育の充実	11,987	R4. 7. 1	
7	産官学連携及び地域連携推進事業経費	学 術 ・ 社 会 連 携 室	学長裁量経費 (研究)	外部資金関連	10,000	R4. 7. 1	
8	特別支援教育「相談・臨床・研修・地域貢献・海外障がい学生受入」事業	人 間 社 会 科 学 研 究 科	学長裁量経費 (教育)	教育の充実	2,558	R4. 7. 1	
9	学校心理教育支援「にこにこルーム」相談活動事業	人 間 社 会 科 学 研 究 科	学長裁量経費 (教育)	教育の充実	5,265	R4. 7. 1	
10	中丸三千繪客員教授の声楽公開授業の定期開催	人 間 社 会 科 学 研 究 科	学長裁量経費 (教育)	教育の充実	332	R4. 7. 1	
11	学内教育研究環境の充実を図るための建物修繕を含めた施設整備費事業 (キャンパスマスタープラン対応、部局等要求事項、緊急修繕)	財 務 ・ 総 務 室 (施 設)	学長裁量経費 (営繕)	施設整備	70,749	R4. 7. 1	2ヵ年事業の2年目 うち、令和3年度からの繰越事業分 34,449千円 別途、前中期目標期間繰越積立金 251,700千円で事業を実施
12	学内教育研究環境の充実を図るための建物修繕を含めた施設整備費事業(経 常的修繕(職員宿舍対応))	財 務 ・ 総 務 室 (財 務)	学長裁量経費 (営繕)	施設整備	20,000	R4. 7. 1	
13	地域の中核大学の産学融合拠点の整備 J-Innovation HUB棟(Jイノベ棟)新営工事	学 術 ・ 社 会 連 携 室	学長裁量経費 (営繕)	施設整備	50,000	R4. 7. 1	
14	ひろしま好きじゃけんコンソーシアム・学生発スタートアップチャレンジ(東広島市 とのマッチングファンド)	学 術 ・ 社 会 連 携 室	学長裁量経費 (教育)	教育の充実	3,014	R4. 7. 1	2ヵ年事業の2年目 うち、令和3年度からの繰越事業分 14千円
15	課外活動施設等の充実を図るための各種修繕等を含めた長期施設整備計画事 業	教 育 室	学長裁量経費 (営繕)	施設整備	22,000	R4. 10. 1	
16	法科大学院施設整備、認証評価受審準備及び法曹養成連携5年一貫教育にお ける学修の質向上に向けた弁護士ゼミの充実強化	人 間 社 会 科 学 研 究 科	学長裁量経費 (教育)	教育の充実	8,600	R4. 10. 1	
17	霞部局合同企画 三浦瑠麗氏特別講演会	医 系 科 学 研 究 科	学長裁量経費 (教育)	教育の充実	319	R4. 10. 1	
18	令和4年度STARTプログラム	国 際 室	学長裁量経費 (教育)	グローバル化	1,900	R5. 1. 4	

事業No.	事業	配 分 部 局 等	配分予算科目	主な目的	配分額	配分日	備 考
19	(霞)実験研究棟(原医研)新営に伴う高密度マウス飼育システムの整備	原 爆 放 射 線 医 学 研 究 所	学長裁量経費(研究)	研究の充実	55,000	R5.1.4	3ヵ年事業の3年目
20	Lighthouse(情報誌、ウェブサイト)への情報掲載及び大学合同説明会への参加	財 務 ・ 総 務 室 (広 報)	学長裁量経費(教育)	レピュテーション向上	2,898	R5.1.4	2ヵ年事業の1年目
21	令和4年度 広島大学オープンキャンパスにおける新聞広告掲載業務	財 務 ・ 総 務 室 (広 報)	学長裁量経費(教育)	レピュテーション向上	7,696	R5.1.4	
22	アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院-広島大学グローバル校PR動画制作業務	財 務 ・ 総 務 室 (広 報)	学長裁量経費(教育)	レピュテーション向上	737	R5.1.4	
23	SDGs報告書2022の作成と出版	学 術 ・ 社 会 連 携 室	学長裁量経費(研究)	レピュテーション向上	3,270	R5.1.4	
24	第16回広島大学ホームカミングデー	基 金 室	学長裁量経費(管理)	レピュテーション向上	4,957	R5.1.4	
25	「広大中央口」交通結節点の整備に係る石碑及びモニュメント整備	財 務 ・ 総 務 室 (総 務)	学長裁量経費(管理)	施設整備	15,689	R5.1.4	
26	基盤的設備の整備(食品製造設備)	統 合 生 命 科 学 研 究 科	学長裁量経費(教育)	教育の充実	15,711	R5.1.4	
27	基盤的設備の整備(海洋生物資源の生理生態学的特性解析システム)	統 合 生 命 科 学 研 究 科	学長裁量経費(教育)	教育の充実	12,938	R5.1.4	
28	基盤的設備の整備(ヘリウムガスバッグ)	自然科学研究支援開発センター	学長裁量経費(研究)	研究の充実	7,006	R5.1.4	
29	基盤的設備の整備(多様な研究開発を支える超高分解能核磁気共鳴装置)	自然科学研究支援開発センター	学長裁量経費(研究)	研究の充実	42,999	R5.1.4	
計					477,981		

令和4年度 学長裁量経費 事業概要

No.	区分	担当 部局	事業の概要	配分額（千円）	備考
1	営繕	財務（施設・総務室）	<p>学生環境整備及び体育館空調整備について</p> <p>学生の教育環境の向上に資する、体育施設の空調整備を行う。また、体育館はコロナ禍におけるワクチンの集団接種会場としても利用されており、地域住民へのサービス向上を図る。</p> <p>北一食堂及び西二食堂に関して、雨天時にも学生の行列ができており、学生サービス向上のために屋根を設置する。また、北一食堂周辺環境整備を行い、学生や教職員の交流の場となる整備を行う。</p>	53,592	2カ年事業の2年目 うち、令和3年度からの繰越事業分53,592千円
2	管理	財務・総務室（情報）	<p>事務用端末等のセキュリティ強化</p> <p>本事業は、「広島大学情報セキュリティ対策基本計画」に沿った情報セキュリティ対策を行うため、事務用端末等を更新する。</p> <p>○基本方針 (1) メール送受信及びインターネットWebアクセスを行う端末については、これまで以上の情報セキュリティ対策を行う。 (2) 事務用ファイルサーバや重要事務情報システムへ管理者アクセスを行う端末はインターネット端末と分離し、外部との通信が制限されたネットワークのみに接続することで、より厳重な情報セキュリティ対策を行う。 (3) 事務用メールは、これまでと同様のアドレスを継続する。ただし、事務用メールの利用には職員個人のIDを用いて、これまで使用している共有IDは廃止する。</p>	22,834	事業総額97,834千円を4年にわたって予算措置。 (1～3年目：25,000千円、4年目：22,834千円) 4カ年事業の4年目
3	研究	学術・社会連携室	<p>ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業における女性研究者の研究活動再開・継続支援</p> <p>本学は、平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択され、同事業における目標・行動計画として、「ダイバーシティ研究環境整備強化」、「女性研究者の研究力向上とリーダー育成」、「女性研究者の積極採用と上位職登用」、「ダイバーシティ研究環境実現モデル開発」からなる4つの取組を実行することで、大学と企業の女性研究者に新たな知識や機会を提供し、地域に根差しかつ国際的な視野も有する女性研究者の量的・質的拡充を目指している。</p> <p>このうち「ダイバーシティ研究環境整備強化」の取組の一環として、ライフイベント等によりキャリアを中断している女性研究者及び本学に在籍する研究者の配偶者で、研究の再開・継続を希望する研究者を研究員として雇用し、女性研究者の研究活動の再開・継続を支援する。</p>	6,300	
4	研究	学術・社会連携室	<p>令和4年度科研費ステップアップ支援制度</p> <p>本制度は、研究者個々の研究活動の更なる発展・拡大を目的とし、積極的に、より上位の種目への申請・採択を目指す研究者に対し、不採択の場合でも支援金により一年間の研究活動を保証することで、安心してより上位の種目へチャレンジすることを促す制度である。</p>	5,000	計画変更による予算の引き上げ 当初計画額10,000千円
5	管理	財務・総務室（広報）	<p>公式ウェブサイト運用システムのDrupal9更新</p> <p>広島大学公式ウェブサイトは、平成19年に導入したウェブマネジメントシステム（HUMMS）で運用していたが、スマートフォンへの対応ができていないこと、情報セキュリティの維持・向上への対応に関する課題があったため、平成28年にオープンソースのコンテンツ・マネジメント・システム（CMS）であるDrupalを用いた公式ウェブサイト運用システム（以下、現行CMS）を構築し、平成28年12月から運用を開始した。</p> <p>現行CMSを構成するDrupal7は令和4年11月28日でサポート終了となるため、本事業はサポート終了までにDrupal7の後継であるDrupal9に更新を計画するものである。</p>	14,630	
6	教育	教育室	<p>博士課程リーダー育成プログラム運営支援経費</p> <p>本学では、文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」事業に2件採択され、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した教育プログラムを展開し、国際的に広く社会で活躍するリーダーとなる人材育成に取り組んでいる。</p> <p>平成23年度に採択された「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」及び平成25年度に採択された「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」の補助支援期間が終了することから、令和元年5月28日開催の役員会において、令和2年度以降、それぞれ毎年1,000万円を、プログラムの運営に必要な経費として予算措置することが決定された。（プログラムの実施状況等を踏まえ、5年後を目途に見直しを行う）</p> <p>この経費を用いて本プログラムを安定的かつ継続的に実施する。</p>	11,987	

No.	区分	担当 部局	事業の概要	配分額（千円）	備考
7	研究	学術・社会連携室	産官学連携及び地域連携推進事業経費 学術・社会連携室及びオープンイノベーション事業本部の業務を推進し、外部資金の獲得額を増加させるべく、大企業や地域起業及び国や自治体との連携、組織対組織の共同研究を強化することを目的とする。 共同研究収入額を増額させるためには大企業との共同研究件数の増加が急務であり、地域創生のためには地域企業や自治体との連携が急務である。これらの業務推進を加速させるためには、現状のスタッフだけでは十分な対応ができないため、以下の業務を外部に委託する。 ① 本学の健康長寿研究のブランド化のため、シンポジウムの開催等の有効な方法を提案実施し、国や民間企業等の外部資金の獲得を支援する。 ② 各省庁及び企業と連携を図り、資金獲得の情報収集を行い、本学研究室と各省庁、企業等とのコミュニケーションを支援する。 ③ 上記の他、業務の目的を達成するために必要な業務を行う。	10,000	
8	教育	人間社会科学研究所	特別支援教育「相談・臨床・研修・地域貢献・海外障がい学生受入」事業 人間社会科学研究所附属特別支援教育実践センターは、「教育相談・臨床」や「研究」、現職教員、療育施設スタッフや保護者向けの「研修」、障がいのある子どもたち向けの教材開発や地域の学校支援等の「地域貢献」といった広範囲の事業を展開しながら、「特別支援教育学生サポーター派遣事業」や要経過観察幼児対象の親子教室「のびのびくらぶ」等も実施してきた。 森戸国際高等教育学院との連携については、新型コロナウイルスの影響により中止となった、長春大学特殊教育学院の視覚障がい、聴覚障がいのある学生の日本語・日本文化研修（日・日研修）の実施を予定している。令和4年度は日・日研修を復活させるとともに、引き続き国際室や森戸高等国際高等教育学院、アクセシビリティセンター、ダイバーシティ研究センターとも連携を図りながら、当センターがリーダーシップを発揮し、本学やアジア地域においてインクルーシブ・マインドを持つ学生の輩出に努める。	2,558	
9	教育	人間社会科学研究所	学校心理教育支援「にこにこルーム」相談活動事業 「にこにこルーム」は、現代GP「子どもの心と学び支援プログラムの展開」事業（平成19年度採択）以来、地域の子どもの心と学びに関する相談支援サービスを行うとともに、その支援実習を通して、教職志望の学生の心と学び支援の高度な専門的実践力の育成を図ることを中核としている。 令和4年度は、この活動を基盤とした研究を進め、国際雑誌への投稿も視野に入れた研究を推進するほか、教育モデルのさらなる改善や、引き続き学校心理士取得の支援を行う。	5,265	
10	教育	人間社会科学研究所	中丸三千繪客員教授の声楽公開授業の定期開催 平成28年度から開催している「中丸三千繪客員教授の声楽公開授業」について、令和4年度も引き続き公開授業を実施し、学生の技量向上と地域との連携に貢献する。 平成28年度から毎年度実施している公開授業を受講した学生の評価が高く、国内外において数々の公演を行い活躍するソプラノ歌手の中丸三千繪客員教授による指導が、本学学生のモチベーション及びレベルの向上につながる。	332	
11	営繕	財務・総務室（施設）	学内教育研究環境の充実を図るための建物修繕を含めた施設整備費事業（キャンパスマスタープラン対応、部局等要求事項、緊急修繕） 「広島大学キャンパスマスタープラン2022」「広島大学インフラ長寿寿命化計画（行動計画）2022」など施設整備の基本計画や部局からの営繕要求に基づき、全学の営繕工事を行う。限られた財源の中で現状の教育研究環境の水準を安全性・健全性の両面から維持しつつ、教育・研究環境の機能向上や省エネ化の推進等を図ることにより、アカデミックプランの実現を施設等環境整備の側面から支援することを目的としている。 ●キャンパスマスタープラン対応 「広島大学キャンパスマスタープラン2022」に示すアクションプランに基づき整備を行う。なお、当該整備事項については、現地の状況確認を踏まえた評価により、実施予定事項を選定。 ●部局等要求事項 部局等からの要求に対する機能再生整備により、健全なキャンパス機能の確保を図る。また、評価されにくい少額の要求事項については、劣化状況等を考慮した選定基準を別途設けて実施予定事項を選定。 ●緊急修繕 教育・研究機能の突発的事故等による障害からの早期回復のため、緊急を要する事項（雨漏り、設備機器（空調設備等）、ライフライン等）を対象として、随時対応する。 ●市道認定に係る経費 大学会館前の「サービス幹線東西道」の市道認定に必要な歩道舗装及び車道ライン補修を行う。	70,749	2カ年事業の2年目 うち、令和3年度からの繰越事業分34,449千円 322,449千円 （学長裁量経費70,749千円、前中期目標期間繰越積立金251,700千円の計）の計画額内訳 ○計画営繕 225,129千円 （キャンパスマスタープラン等対応、部局等要求事項対応等） ○地区修繕 20,000千円 （附属学校地区の営繕） ○緊急営繕 74,320千円 （計画外の緊急的修繕） ○市道認定に係る経費 3,000千円

No.	区分	担当 部局	事業の概要	配分額（千円）	備考
12	営繕	財務（財務・総務室）	<p>学内教育研究環境の充実を図るための建物修繕を含めた施設整備費事業（経常的修繕（職員宿舎対応））</p> <p>給排水設備修繕等、職員宿舎の経常的な営繕を行う。</p>	20,000	
13	営繕	学術・社会連携室	<p>地域の中核大学の産学融合拠点の整備 J-Innovation HUB棟（Jイノベ棟）新営工事</p> <p>革新的半導体の研究開発のため、せとうち半導体共創コンソーシアム設立のもと、その中核である広島大学ナノデバイス研究所の2つのスーパークリーンルーム（研究用半導体集積回路試作ライン）に付設して、オープン交流拠点と共同研究の場を設置する。具体的には、3階建鉄筋コンクリート造の新研究棟「Jイノベ棟」を建築する。オープン交流拠点と企業研究員の常駐スペースを配置し、極限環境エレクトロニクス・原子層ナノプロセッシング研究、AI/IoT・Beyond 6G研究を行う。</p>	50,000	
14	教育	学術・社会連携室	<p>ひろしま好きじゃけんコンソーシアム・学生発スタートアップチャレンジ（東広島市とのマッチングファンド）</p> <p>本学においてアントレプレナー教育を学んだ学生に芽生えた起業家意識を、起業まで押し上げる仕組み（コンテスト）を構築する。起業を希望する学生が身近にいる地域の同年代の学生と競争することで、東広島市に起業コミュニティを作りたいことを目的に、採択された計画に対してスタートアップチャレンジ推進経費を支援。また、令和4年度からはものづくり領域に特化した起業の可能性を学生に体感させることを目的に、ものづくり分野の起業に向けた起業検証プログラム「広島大学・ものづくりハッカソン」を実施。</p>	3,014	2カ年事業の2年目 うち、令和3年度からの繰越事業分14千円
15	営繕	教育室	<p>課外活動施設等の充実を図るための各種修繕等を含めた長期施設整備計画事業</p> <p>本学の課外活動施設等の老朽化対応及び充実を図ることを目的に、各種修繕等を含めた施設整備事業（長期整備計画対応及び突発的修繕対応）を行う。</p>	22,000	
16	教育	人間社会科学部	<p>法科大学院施設整備、認証評価受審準備及び法曹養成連携5年一貫教育における学修の質向上に向けた弁護士ゼミの充実強化</p> <p>法科大学院学生用自習室1室及び法務研修生自習室1室をリニューアルし、学生に快適な学習環境を提供することで、優秀な入学志願者の確保及び司法試験合格者の増加につなげる。</p> <p>また、令和5年度の専門職大学院認証評価受審に備えるため、修了生への意見聴取を行いインタビュー動画を作成するほか、法科大学院指定図書充実させる。さらに、弁護士による学修指導ゼミを維持・強化して人的な学修支援体制を整え、司法試験合格率の向上を図る。</p>	8,600	
17	教育	医系科学研究科	<p>霞部局合同企画 三浦瑠麗氏特別講演会</p> <p>国際政治学者の三浦瑠麗氏を招き、「パンデミックと多様性の問題から考える日本」をテーマとした講演会を開催する。激変する国際情勢の中、パンデミックに照らした危機管理とデータ分析、多様性など21世紀に必要な変化に対し、日本が考えなければならない課題について講演を予定しており、大学に求められる国際化や多様性について学ぶことができる。全学の学生・教職員を対象とした講演会を開催することにより、更なる意識向上を図る。</p>	319	
18	教育	国際室	<p>令和4年度STARTプログラム</p> <p>STARTプログラムは、海外経験の少ない学部1～3年生に、国際交流や長期留学への関心を高めるきっかけを提供することを目的として、平成22年度から開始し、これまで67回の海外派遣を実施している。当該事業については、研修費用の一部を広島大学基金及び学長裁量経費から補助することで、学生の経済的負担を減らし、より多くの学生が留学に挑戦する可能性を広げており、SGU事業における達成目標である学生の海外派遣拡大及び外国語能力の向上につながっている。</p>	1,900	
19	研究	原爆放射線科学研究所	<p>（霞）実験研究棟（原医研）新営に伴う高密度マウス飼育システムの整備</p> <p>放射線被ばくによる健康影響、特に福島第一原発事故やCT検査などの医療放射線被ばくによる低線量放射線の健康リスクの解明は喫緊の課題である。原爆被爆者の疫学研究でも明確にすることが困難な「低線量被ばくの人体影響」の解明には、生物学的研究手法によるメカニズム研究が求められる。この生物学的研究には、多様な疾患モデルマウスなどを多数用いた実験が必要であることから、マウスを飼育するケージごとに換気することで高い清浄度を保つ高密度マウス飼育システムを（霞）実験研究棟（原医研）の新営に併せて3カ年で整備する。</p>	55,000	3カ年事業の3年目
20	教育	財務（広報・総務室）	<p>Lighthouse（情報誌、ウェブサイト）への情報掲載及び大学合同説明会への参加</p> <p>Lighthouse社は、米国在住の日本人や日本語を学ぶ学生向けの生活情報を全米で展開しており、同社の情報誌やウェブサイトにも本学の情報を掲載することで、米国在住の受験生及びその保護者における本学の認知度を向上させる。</p> <p>また、全米の受験生が参加する同社主催の大学合同説明会で、本学の概要や取組、入試制度を広報することにより、受験生等の本学への関心を高め、海外からの受験生の増加につなげる。</p>	2,898	2カ年事業の1年目

No.	区分	担当 部局	事業の概要	配分額（千円）	備考
21	教育	財務 （広・報） 総務室	<p>令和4年度 広島大学オープンキャンパスにおける新聞広告掲載業務</p> <p>令和4年度広島大学オープンキャンパス（8月18日、19日に開催）にあわせて、中国新聞及び日本経済新聞（全国紙）に広告を掲載し、本学が取り組んでいる教育・研究に関する事業などを発信することで、広島大学をアピールする。</p> <p>新聞広告の掲載については、広島県内を中心とした地域住民・企業への情報発信を行うとともに、グローバルに事業を展開する機関を含めた多くの企業・ビジネスパーソンに対し、本学の取組を積極的にアピールするため、全国紙での掲載も行う。全国紙の中でも、とりわけ企業やビジネスパーソンが高い関心を寄せる経済等の情報が多数掲載されている日本経済新聞への掲載が訴求力が高い。</p> <p>今年度は、オープンキャンパスの開催にあわせ、国際政治学者の三浦瑠麗氏と学長の対談を通じて、アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院広島大学グローバル校の開校、ミライクリエの開館等本学の国際化に向けた取組等を積極的にアピールする。</p>	7,696	
22	教育	財務 （広・報） 総務室	<p>アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院－広島大学グローバル校PR動画制作業務</p> <p>広島大学の認知度向上のために、動画コンテンツの充実は重要である。令和4年8月に、アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院－広島大学グローバル校が開校することに合わせて、新たなPR動画を制作する。</p> <p>広島大学のキャンパス風景や、広島県及び東広島市の紹介に加え、広島大学、サンダーバードグローバル経営大学院両学長によるキャンパス視察風景及びコメントを紹介することで、受験生への認知度向上に繋がるなどの効果が期待できる。さらには、国内外、特に海外からの留学希望者へのアピールに貢献する。</p>	737	
23	研究	学術・ 社会連携 室	<p>SDGs報告書2022の作成と出版</p> <p>広島大学FE・SDGsネットワーク拠点（NERPS）及び全学のSDGsに関する取組を学外に公表することを目的として、SDGs報告書を作成・出版する。全学的取組であるSDGsの推進を学外に公表することにより、広島大学のレピュテーション向上に資する。またSDGs報告書の出版については、イギリスの高等教育専門誌 Times Higher Education (THE)の「THE インパクトランキング」の評価査定項目に含まれており、ランキング結果にも貢献する。</p>	3,270	
24	管理	基金室	<p>第16回広島大学ホームカミングデー</p> <p>平成19年度から本学と本学校友会との協同事業として毎年実施しているホームカミングデーは、本学が卒業生や元教職員を招待し歓待するイベントとして開催しており、在学生や教職員との交流を通じた強いコミュニティを育むための事業であり、その目的を達成するために継続的に開催する。</p>	4,957	
25	管理	財務 （総務） 総務室	<p>「広大中央口」交通結節点の整備に係る石碑及びモニュメント整備</p> <p>「広大中央口」バス停については、東広島市から提案のあった大学構内への交通結節点の整備が進められ、令和5年2月に完了予定である。「広大中央口」は本学の玄関口でもあり、多くの来学者が利用する場所であることから、来学者が記念撮影等できる石碑及びモニュメントを整備することで、本学の撮影スポットとして活用されることを期待する。</p>	15,689	
26	教育	統合生命 科学研究科	<p>基盤的設備の整備（食品製造設備）</p> <p>教育設備整備計画に基づき、基盤的教育設備として、食品製造設備を整備する。本設備は、生物生産学部食品製造実験実習棟において、農産物や畜産物・水産物などの食資源における各種加工処理の原理について、実習を通して学ぶための設備である。現有の設備は老朽化が甚だしいため、安全性の確保の観点から、早期の更新が必要である。</p> <p>設備の導入・更新により、作業工程の選択肢が増え、より実践的な実習が可能になり、SDGs目標達成のための食資源の加工技術・管理技術を学ぶことができる。また、食品製造を行う上での品質管理や衛生管理の必要性・重要性を実践的に理解することができる。食品製造実験実習棟の担う食品製造に関する高度な実践教育を行うことが可能になる。</p>	15,711	
27	教育	統合生命 科学研究科	<p>基盤的設備の整備（海洋生物資源の生理生態学的特性解析システム）</p> <p>教育設備整備計画に基づき、基盤的教育設備として、海洋生物資源の生理生態学的特性解析システムを整備する。</p> <p>本設備は、X線分析装置、酸素濃度計、吸光度式水質測定器から成り、統合生命科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション（水産実験所）において、水圏生物（魚類、無脊椎動物、海藻・海草類）を対象とした水産海洋科学分野（海洋生物学、増殖学、生理生態学、分子生物学など）の教育研究のため、生育環境の水質を把握し、生物個体の生理活動を経時的および系統的に分析することを可能にする。</p>	12,938	

No.	区分	担当 部局	事業の概要	配分額（千円）	備考
28	研究	自然 発科 セン 研究 支 援	<p>基盤的設備の整備（ヘリウムガスバッグ）</p> <p>研究設備整備計画に基づき、基盤的研究設備として、ヘリウムガスバッグを整備する。 本設備は、低温実験棟において、学内の物質科学の教育研究に必要不可欠な液体ヘリウムを安定供給するためのヘリウム回収・液化システムの主要設備であり、各ユーザーからの回収ヘリウムガスを液化する前に、一時的に貯蔵するためのものである。現有の設備は耐用年数を超えいつ破損してもおかしくない状況であり、破損による液体ヘリウムのリサイクルシステム崩壊を回避するため、速やかに本設備の更新が必要である。本設備の更新により、液体ヘリウムの安定供給システムが盤石なものとなり、広島大学の物質科学の教育研究の持続的な発展に寄与することが可能となる。</p>	7,006	
29	研究	自然 発科 セン 研究 支 援	<p>基盤的設備の整備（多様な研究開発を支える超高分解能核磁気共鳴装置）</p> <p>研究設備整備計画に基づき、基盤的研究設備として、超高分解能核磁気共鳴装置（NMR）を整備する。 本設備は、自然科学研究支援開発センターにおいて使用する。NMRは、磁場中に入れた物質の核スピン共鳴現象を観測することにより、物質の分子構造を原子レベルで解析できる装置である。特に有機化合物や高分子材料の分析に用いられ、製薬・バイオ・食品・化学といった分野で威力を発揮することから、バイオマスを活用する技術やカーボンニュートラルを実現する材料の開発に欠かせない装置である。デジタル技術や測定シーケンスの進歩により、要求設備ではより繊細で高度な測定ができる。オートサンプルチャージャーとオートチューニングを備えることにより、自動化や遠隔操作も可能となり研究DXを促進する。</p>	42,999	